

令和7年度 男鹿市地域おこし協力隊活動プログラム

テ ー マ	地域を動かす仕掛け人（地域活性化サポーター）
目 的	地域住民同士や地域外の人々との交流機会の増加により、交流・関係人口の拡大及び地域の活性化を図る
活動内容	①町内会などの地域コミュニティと連携した地域交流イベントの企画・開催、②地域行事継続のためのお手伝い、③SNS等を活用した地域の魅力発信

1. 求める人物像

性格	・世代を問わず他者とのコミュニケーションを楽しめる ・伝統文化、地域のお祭りなどの行事に興味がある（関わりたい） ・主体性と協調性がある方
その他	・社会人としての基本的マナーが身についている ・地域の文化や習慣などを尊重できる ・不便さも含めて田舎暮らしを楽しめる

2. 必要な資格等

資格等	自動車運転免許
資金	－
その他	動画編集のスキルやイベントの企画・運営経験があればなおよし

3. 活動目標

1 年 目	集落支援員や地域との関係づくり、各地域の魅力や課題を知る、ナマハゲ行事など地域行事への参加
2 年 目	地域交流イベントの企画及び開催(2～3/年程度)、地域行事への積極的なお手伝い
3 年 目	地域交流イベントのブラッシュアップや地域への継承、任期終了後の定住を視野に入れた活動

4. 任期終了後の進路イメージ

独立	地域づくりコーディネーター、個人事業主
就職	集落支援員などの市の会計年度任用職員、民間企業への就職
その他	秋田県地域おこし協力隊ネットワークとの業務提携（副業）

5. 活動&サポートスケジュールイメージ

		1 年目				2 年目				3 年目				協力隊活動終了	4 年目以降		
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月		4年目	5年目	6年目
協力隊活動	業務	地域との顔合わせ	地域の魅力や課題の整理	イベント企画、開催に向けた地域との協議・調整		イベント準備・開催		次年度イベント準備		イベント準備・開催		イベント自走化に向けた協議等		協力隊活動終了	地域づくりコーディネーターとして独立		
		活動内容や地域の魅力をSNSで発信													市の集落支援員や会計年度認証職員として任用		
			7月広報記事	11月広報記事	3月広報記事		7月広報記事	11月広報記事	3月広報記事		7月広報記事	11月広報記事	3月広報記事		民間企業等に就職		
			移住フェア参加				移住フェア参加				移住フェア参加				起業・個人事業主		
				予算編成	3月活动報告会			予算編成	3月活动報告会			予算編成	3月活动報告会		県の協力隊ネットワークより業務受注		
	行事			12/31ナマハゲ行事	2月柴灯まつり			12/31ナマハゲ行事	2月柴灯まつり			12/31ナマハゲ行事	2月柴灯まつり				
個人	日常生活	年間を通じて地域行事・イベント等に参加することで地域の歴史や風土を知る								業務量調整							
		地域住民との交流を通じて移住者目線での地域の魅力を発見する								起業・就職・定住に向けた活動や研修							
その他		移住定住ポータルサイト「おが住」の運営・更新（他の協力隊と共同で行う）															
		担当職員や市内で活動する他隊員との定期的な活動報告会への出席															
		県内で活動する他の隊員との交流を深め、繋がりや関係を構築する															

6. サポート体制／内容

活動拠点／配属先	男鹿市総務企画部企画政策課 移住定住促進班 担当：伊藤大輔
	【1年目】 ※活動の拠点は市役所内の企画政策課となります(隊員用のデスクやPC等も用意)。担当職員の指導やサポートのもとで、まずは業務に慣れていただきます。 ・地域の関係者との顔合わせや紹介（つながり作り） ・行政運営や予算執行、男鹿市の概況についてのレクチャー ・協力隊としての知識やスキルアップのための研修会等への参加調整 ・日々の相談対応や活動アドバイス、出勤等調整や活動費管理
	【2年目】 ※自身の業務ルーティンにも慣れ、内勤(管理業務や情報発信のための編集作業)と、外勤(取材やイベント開催に伴う関係者との打ち合わせ等)のバランスを自主的に設定していただきます。 ・業務バランスや内容等の確認と調整 ・地域の関係者との調整 ・更なるスキルアップや、起業・独立に向けた研修会等の情報提供と参加調整 ・日々の相談対応や活動アドバイス、出勤等調整や活動費管理
	【3年目】 ※任期終了後に向けた活動も視野に入れ、年間のスケジュールや業務量の調整等を行っていきます。 ・主に起業、独立、就業等に向けた研修会等への参加調整 ・日々の相談対応や活動アドバイス、出勤等調整や活動費管理 ・任期終了後に向けた活動や定住に対するアドバイス

国／県	主に総務省／秋田県あきた未来創造部 移住・定住促進課
	【1～3年目】 【国】 ・研修会等の開催情報提供 ・地域おこし協力隊全国ネットワークプラットフォームの提供 ・総務省地域おこし協力隊アドバイザー派遣事業 【県】 ・秋田県主催の研修会や、協力隊同士の交流会等の開催 ・秋田県地域おこし協力隊ネットワークと連携したサポート
その他	○市職員との会議や打ち合わせについては概ね以下のものがあります。 ①担当職員とのスケジュールや業務確認（日次・週次） ②所属班全体での定例会（月次） ③次年度に向けた予算編成会議（11月頃） ④市内で活動する他の協力隊との定例報告会（月次） ⑤関係者や地域住民に対しての活動報告会（年1回） ※活動の性質上、任期中は地域住民だけでなく、地域で活躍する市民や移住者、事業者、他市町村の協力隊といった多様な人材との出会いが豊富にあり、任期中の活動や退任後の自身の生活においても、その繋がりを活かすことができます。

7. 自動車規定／住居規定

自動車規定	○活動に使用可能な車両を準備します ・リース契約にて用意しますが、公務での使用に限定しています（燃料費も市が負担します）。 ・男鹿市での通勤や日常生活のため、自家用車(要任意保険加入)の持ち込みを推奨します。
住居規定	○家族構成に応じた住居の紹介 ・住居については家族構成や要望等に合わせてアパート等を紹介し、最終的に隊員になる方に決定していただきます。 ・アパート等の賃借料や保険料、契約に係る初期費用は原則市が負担しますが、引っ越しに係る費用及び水光熱費は自己負担となります。